

の並び方が違ふさうであるが、前記の如く *praticola* の眼の記載は非常に簡単なので原記載による眼の比較は不可能であり、只圖によつて見るに *praticola* の眼の並び方も *dorsilineata* の眼の並び方もよく似てゐる事は明らかである。故にこれを以て *Agroeca praticola* は *Itatsina dorsilineata* ではないと斷言する事が出来ない。

因に其の後判明したイタチグモの分布地は天覧山・埼玉縣去木町・下田・天城山・三重縣宇治山田市・愛媛縣堀江村・大阪府等であり、各地とも注意すれば多數採集する事が出来るやうである。成熟するのは秋で十月頃落葉に卵囊を産みつける。

下 田 ・ 天 城 の 蜘蛛

高 島 春 雄

東京市本郷區駒込曙町5

Takashima, H. — Spiders of Shimoda and Mt. Amagi, Izu Province.

筆者の南伊豆蜘蛛相の調査は福井教授並びに筆者による「南豆陸棲動物相の究明」の一部を成すものであり、筆者等の請に應じ毎回査定の勞を執られる植村利夫氏に深謝する次第である。

第5報 1937年6月

6月13日朝東京を發し同18日に戻るまで下田と天城で例の如く動物採集に過した。勘定してみると筆者の下田行は之が10回目である。今度は尾形藤治氏と御一諸で出發から東京歸省迄終始行動を偕にした爲便宜を得たること甚だ多かつた。茲に同學兄に對し謝意を表明するものである。氏御自身も熱心に蜘蛛を採集なさつたのである。筆者が下田町の各所で採集した蜘蛛につき植村氏より御返事のあつた分は大體26種で、此の内4種（*を附して區別してある）は下田の蜘蛛相に新加入したものである。

ウツグモ科 1 オホヒカゲグモ **ヒメグモ科** 2 オホヒメグモ **サラグモ科**
 3* サラグモ一種 *Linyphia* sp. (成體) 4* セスデアカムネグモ *Oedothorax insecticeps*
 Boesenberg et Strand **コガネグモ科** 5 コガネグモ 6 ヤミイロオニグモ 7 ヤ
 マシロオニグモ 8 オニグモ一種 9 ゴミグモ 10 ユノハマドヨウグモ 11 アシ

ナガグモ 12 コシロガネグモ **キシダグモ科** 13 スヂチャハシリグモ **ドクグモ科** 14 ウヅキドクモ 15* ヒナドクグモ *Lycosa piratoides* (Boesenberg et Strand) **ササグモ科** 16 ササグモ **タナグモ科** 17 クサグモ 18 タナグモ—種 *Tegenaria* sp. (亞成體) **カニグモ科** 19 エビグモ—種 *Philodromus* sp. (幼) 20 シヤコグモ **ハヘトリグモ科** 21 ハヘトリグモ 22 アダソソハヘトリ 23* アシブトハヘトリ *Plexippus crassipes* Karsch **フクログモ科** 24 ハマキフクログモ **アシダカグモ科** 25 アシダカグモ **シボグモ科** 26 シボグモ

他に下田町外柿崎の海水浴場近くで氣粉れに採つた蜘蛛は オホヒメグモ及びオニグモで何れも下田より既知の種類であつた。尙植村氏が後に尾形氏の採品をも檢せられた結果次の10種は筆者の採品中に無く新に下田の spider fauna に入るべきものであることが判つた。茲に尾形氏に敬意を表し下の10種を加へる。

1 カタハリヒカゲグモ *Uloborus sybotides* Boesenberg et Strand 2 ワキグロヒメグモ *Theridion angulithorax* Boesenberg et Strand 3 センセウグモ *Ero foliata* L. Koch (**センセウグモ科** *Mimetidae* が新に加はる) 4 キイロオニグモ *Araneus melloe* (Simon) 5 マルゴミグモ *Cyclosa vallata* Keyserling 6 カラカラグモ *Theridiosoma epeiroides* Boesenberg et Strand 7 ヒノマルドクグモ *Lycosa japonica* Simon 8 シモフリタナグモ *Tegenaria corasides* Boesenberg et Strand 9 ラムベルトハヘトリ *Hyllus lamperti* Boesenberg et Strand 10 コフクログモ (植村氏新稱1938) *Clubiona corrugata* Boesenberg et Strand

6月15日筆者第5回目の天城行。今回は臨海實驗所の澤野英四郎氏、酒井恒氏、末松四郎氏、技工佐藤林藏氏、それに東京側の尾形氏に筆者といふ大一座なので乗合でなく特に一臺頼んで下田を出發。筆者以外は佐藤氏が數年前一度行つたことがあるきりの由で燈臺下暗しとは之である。下田では快晴だつたが山に登るにつれ曇となり時々晴るといふ鹽梅。今日は親睦の遊山と採集と兩方で尾形氏携行のカメラと8ミリ攝影機は隨所に活躍一寸も油斷がならない。此の日の蜘蛛の採品で植村氏より教示のあつたのは下掲の14種(新規採集のもの5種に*を附す)である。種類の數は少いが植村氏待望のヨツボシアカムネグモの成雄を得たのは愉快である。之に關しては前號植村氏の報文を參照せられ度く前々號の拙文中にコブグモ—種 *Lophocarenum* sp. としたものゝ本體は之である。

ウツグモ科 1* オホヒカゲグモ *Sybota varians* (Boesenberg et Strand) **ヒメグモ科** 2* ヒメグモ—種 *Theridion* sp. (幼) **サラグモ科** 3 ヨツボシアカムネグモ *Oedothorax quadripunctatus* Uyemura 4 アカムネグモ—種 *Oedothorax* sp. (5月と同じ) 5 ヒラサラグモ **コガネグモ科** 6 コシロガネグモ **キシダグモ科** 7 ス

デチャハシリグモ **ドクグモ科** 8 ウツキドクグモ **タナグモ科** 9* タナグモ一種 *Tegenaria* s. (亜成體) **カニグモ科** 10 アマガエビスグモ *Oxyptila takashimai* Uyemura (成體) 前々號に珍品カニグモ一種 *Xysticus* sp. としたものゝ本體は前號に植村氏の發表された本種であつた) 11 ハナグモ一種 *Misimena* sp. (幼) **ハヘトリグモ科** 12 チヤスデハヘトリ 13* ウススデハヘトリ *Plexippus incognitus* Doenitz et Strand **フクログモ科** 14* イナヅマツヤグモ *Micaria claripes* Doenitz et Strand

尙尾形氏の採品中には天城では筆者の曾て獲ざりし 1 アシナガグモ一種 *Tetragnatha* sp. 2 ヤミイロカニグモ *Xysticus ephippiatus* Simon 3 ハラオビヒメグモ (植村氏新稱1938) がありし由植村氏よりお知らせを受けた。下田に滞在中酒井恒氏御夫妻より御歡待に預つたことに忝く御禮申し述べ度い。

第6報 1937年7月

7月18日から21日迄第11回目の下田行をやつた際の蜘蛛採集成績を記す。極く短時日であつたが出来るだけ努力したので採つたり見たりした種類は32以上に達した。いつもの様に植村氏に同定を願ひ御返事あつたものに就き以下の如く報告する。

先づ實驗所寄宿舍内では 1 オホヒメグモ 2 ナガコガネグモ 3 ジョラウグモ (幼) 4 イヘオニグモ 5 アシナガグモ一種 (幼) 6 ハナグモ (幼) 7 チヤスデハヘトリ 8 アダンソンハヘトリ 9 アシダカグモ等を得た。次に野外で採つたものを分科目録にして示すと (此の内 5 コガネグモと31アシダグモは態と採集しなかつた)

ウツグモ科 1 オホヒカゲグモ **ヒメグモ科** 2 オホヒメグモ 3 ヌサグモ 4 コノハヒメグモ **コガネグモ科** 5 コガネグモ 6 コガタコガネグモ 7 ナガコガネグモ 8 ゴミグモ 9 アシナガグモ (幼) 10 ヤサガタアシナガグモ 11 ジョラウツモ (幼) 12* シロオビトリノフンダマシ *Cyrtarachne fasciata* Kishida 14 サツマノミダマシ (此のサツマはハゼノキの異名で地名の薩摩と關りは無い) 14 オニグモ一種 *Araneus* s. (幼) 15 イヘオニグモ 16* トスデオニグモ *Araneus vatus* Thorell **キンダグモ科** 17* スデブトハシリグモ *Dolomedes palliarsis* Boesenberg et Strand 18 ハシリグモ一種 *Dolomedes* s. (幼) **ドクグモ科** 19 ウツキドクグモ **タナグモ科** 20 クサグモ 21* クサグモ一種 *Agelena* s. 22* シモフリイホグモ *Corasinsidiosus* L. Kech **カニグモ科** 23 シロアツチグモ 24 ハナグモ 25 シヤコグモ 26* カケモノグモ *Oxyptila decorata* Karsch **ハヘトリグモ科** 27 ハヘトリグモ 28 チヤスデハヘトリ 29* ウデブトハヘトリ *Harmochirus brachiatus* Thorell **フクログモ科** 30* イタチグモ *Itasina dorsilineata* (Doenitz et Strand) **アシダカグモ科** 31 アシダカグモ

以上の内*を附したのは今回新に下田の蜘蛛として仲間入りしたもので8種ある。12や

2Iは珍品であるらしい。下田に着いた翌日即ち7月19日第6回の天城採集をやつた。今度は單身である。下田は終日快晴だったのに天城は酷い降りになつたり陽光が見え出したりを繰返し、雨の爲災厄相次いで起したたかな目に遭つたが、最もくさつたのはアルコホルの罎が横倒しになつて液は全部流出、採集品も $\frac{1}{2}$ は失つたことである。もうとても八丁池迄行く元氣も消散して引返したが、蜘蛛の採品は下の通りで必ずしも無駄な登山でなかつたことを悦んで居る。

ウツグモ科 1* マツガエウツグモ *Yocoborus prominens* (Boesenberg et Strand)
ヒメグモ科 2* アラヒメグモ *Theridion octomaculatum* Boesenberg et Strand 3 ワ
 キグロヒメグモ *Theridion angulithorax* Boesenberg et Strand (前回の *Theridion* sp. は
 之の幼生であつたらしい) **サラグモ科** 4 ヨツボシアカムネグモ (今回は成雌を獲
 た) **コガネグモ科** 5 ギンメツキ 6 コシロガネグモ 7 オニグモ一種 (幼) **キ
 シダグモ科** 8 スズブトハシリグモ (幼) **ドクグモ科** 9 ウツキドクグモ **タナ
 グモ科** 10 タナグモ一種 *Tegenaria* sp. (幼) **ハヘトリグモ科** 11 ウススデハヘ
 トリ

新加入は*を附した2種である。當日獲た腎蟲はヒメザトウムシ及びヤマザトウムシ
Nelima montana Kishida (共に植村氏鑑定) の2種であつた。

(附記) 尾形學士は筆者と入れ替りに7月下旬下田に赴かれ蜘蛛の採集もなさつた。其等
 は後日植村氏の鑑定では2I程程で中に下掲の2種は從來下田から知られなかつたもので
 ある。茲に尾形氏に再び敬意を表して追加する。

オホウツグモ *Uloborus varians* Boesenberg et Strand (ウツグモ科)

キクヅキドクグモ *Lycosa pseudoannulata* (Boesenberg et Strand) (ドクグモ科)

第7報 1937年9月

9月22日より26日迄第12回目の下田行。例の如く同地で採集した蜘蛛を植村學兄に鑑
 識して頂いた。相當努力した積りなのに種数は19, 新に下田の fauna には入つたものは
 ホシモノハシリグモ丈とは情ない。ナガコガネグモが全盛で野外に於て最も私の目を惹
 いた。

ウツグモ科 1 オホヒカゲグモ **ヒメグモ科** 2 オホヒメグモ **コガネグモ科**
 3 コガネグモ一種 (取り逃したので種名判らず) 4 ナガコガネグモ 5 イヘオニグ
 モ 6 デヨラウグモ 7 シロガネグモ **キシダグモ科** 8* ホシモノハシリグモ
Dolomedes japonicus Boesenberg et Strand **ドクグモ科** 9 ヒナドクグモ **ササ
 グモ科** 10 ササグモ (幼) **タナグモ科** 11 シモフリタナグモ **カニグモ科** 12
 ハナグモ 13 シヤコグモ (幼) **ハヘトリグモ科** 14 ハヘトリグモ 15 アダソ
 ンハヘトリ 16 チャスデハヘトリ 17 ハヘトリグモ一種 *Plexippus* sp. (幼) **フ**

クロゴモ科 18 コマチグモ一種 *Chiracanthium* sp. **アシダカグモ科** 19 アシダカグモ

9月23日には第7回の天城採集行。今回は天候に恵まれ山路を進むのも気分が良い。天城峠で下車しいつもとは逆に水生地迄採集しながら歩き水生地から登山。近頃木材搬出の爲に新しい路を作るのでどれが本道やら判らなくなることがあり2-3度迷つて困つた。下田發が8時30分、バスを降りたのは正10時で八丁池に辿り着いたのが1時8分、池畔に少年4人あり、キモリ等を捕つて家苞にして居た。今日は秋季皇靈祭なので遠足に來たらしいが斯かる無人の境で會ふと懐しい限りである。池畔で採集して再び水生地に下りトンネル前に歸着したら表の道を降りて來た4少年に亦邂逅した。トンネルの煉瓦壁を削つて居た小さいアシダカグモ(コアシダカグモ)を採つた時指頭を噛まれた。天候の良かったことは如實に採集成績に現れ植村氏が御通知下さつたのに據ると23種で新加入(*を附してある)は10種に及ぶ。

ヒメグモ科 1* コノハヒメグモ(幼) *Enoplognatha foliicola* D enitz et Strand 2* ヤホシヒメグモ *Theridion octo-maculatum* Boesenberg et Strand **サラグモ科** 3* ワキジロサラグモ(植村利夫氏新稱1938) *Linyphia albo-imbata* Karsch (小松氏の圖説には本種はワキグロサラグモとあるが妥當ならざるを以て今回植村氏が前記の如く改稱されたものである) 4 ヨツボシアカムネグモ(幼) **コガネグモ科** 5 ギンメツキ(幼) 6 アシナガグモ一種 *Tetragnatha* sp. (幼) 7 ユノハマゴミグモ 8* ウロコアシナガグモ *Tetragnatha squamata* Karsch 9 ユノハマドヨウグモ 10 カタダカオニグモ 11* ヤミイロオニグモ *Araneus fuscocoloratus* Boesenberg et Strand 12* ムツボシオニグモ(植村利夫氏新稱1938) *Araneus westringii* (Thorell) (植村氏談“此の種は歐亞の亞寒帶地方に汎く分布し天城は本邦に於ける分布の最南限かと思ふ”) **キシダグモ科** 13 スヂプトハシリグモ **ドクグモ科** 14 ウツキドクグモ **タナグモ科** 15 タナグモ一種(幼) *Tegenaria* sp. 16 屬種不明 **カニグモ科** 17 ワカバグモ(幼) 18* コハナグモ(幼) *Misumena japonica* Boesenberg et Strand 19* スヂエビグモ *Philodromus striatus* Kishida 20 アマギエビスグモ(幼) **ハヘトリグモ科** 21* ネコハヘトリ *Ectophrys nipponicus* Kishida 22* マガネアサヒハヘトリ *Jotus difficilis* Boesenberg et Strand **アシダカグモ科** 23 コアシダカグモ *Heteropoda forcipata* (Karsch) (一昨年10月採集のアシダカグモ一種 *Heteropoda* sp. も此の種であつたらうと思ふ)

朝 露 (表紙説明)

一面に立ちこめて居た霧が朝日に消えたあとは、草も木の葉も蜘蛛網も、七彩に輝く美しい露の玉を宿して庭先に一段と美観を添えて居る。(昭和10年7月、石神井にて撮る)